

第4 1 回番組審議会の審議結果について

1. 開催年月日 平成29年3月3日（金） 11時～
2. 開催場所 （株）ケーブルメディア四国 会議室
3. 出席委員 （7名 出席）

吉田	莞爾	委員長
加藤	昭彦	副委員長
四宮	徹	委員
灘波	順一	委員
北川	大祐	氏（北川つき子委員代理）
長谷	有美	委員
合田	恵梨子	委員
4. 会社側出席者

杉本	耕治	（取締役社長）
大通	孝志	（放送部長）
田中江	里子	（放送部編成制作課長）
天雲	光紀	（放送部編成制作課課長）
大西	愛	（放送部広告営業課）

5. 審議結果

(1) 自主制作番組について

議案の自主制作番組(別紙①,②)について担当ディレクター等より番組制作の意図などを説明した後、DVDを視聴した。これに対し、各委員から次のような意見が出された。

①「どんまい ～ドミノでつなぐ地域の絆～」

- ・地域のイベントを通じて、地域の一体感を醸成していることがわかる非常に良い番組である。
- ・地域のつながりが少なくなっていく中で、コミュニティのあり方について参考となる内容であった。
- ・イベント当日に至るまでの準備もきちんと取材されていて良かった。
- ・番組の総尺が50分と少し長い印象を受けた。インタビューを要約するなど、番組構成の工夫が必要である。
- ・今回のような番組を通じて、中・高校生の参加を促すなど制作側が問題提起していくことがあっても良いのではないか。
- ・題材選びは難しいと思うが、今後も、今回のような地域の取り組みを題材にした番組制作を期待している。

②瀬戸内国際芸術祭2016夏 「五感をくすぐるアートな旅」

- ・取材内容、構成、番組尺等総合的に非常にバランスの良い作品だという印象を受けた。
- ・アートやイベントの紹介はもちろんだが、島に渡ってゆったりとした時間を体験してもらいたいという芸術祭の違った目的もきちんと表現できていて非常に良い番組である。
- ・番組を見た人が、芸術祭に行きたくくなるような作りになっていて良かった。
- ・島民の参加意識や生活の変化なども織り交ぜたら、より良い番組となったのではないか。
- ・もっと多くの方に番組を見てもらえる仕組み作りをしていくと良い。
- ・「瀬戸内国際芸術祭」は、他の地域で行われている芸術祭との差別化が図れている良い芸術祭なので、今後も継続してその魅力を発信して欲しい。

【総括】

- ・両番組とも、企画・主旨・内容について良い番組である。
- ・今後も、ケーブルテレビならではの良さを出して、地元の人々の関心を高めるような番組作りをして欲しい。

(2) 番組審議会委員長の選任について

吉田莞爾委員長が今回で退任することとなったため、番組審議会規定「第3条3項」に基づき、灘波順一委員が委員長に選任された。

議案 自主制作番組

番組タイトル	どんまい ～ドミノでつなぐ地域の絆～
放送期間・番組尺	平成29年1月1日～1月8日放送・50分番組
番組コンセプト	<p>昨年の「旧高松城まつり完全制覇」に続き、地域のイベントを特別番組として取り上げその地域の方に喜んでいただくとともに、その地域のコミュニティの取り組みを紹介する。また、人が多く集まるイベントに顔を出すことで、CMSの認知度を向上させる。</p>
番組内容	<p>12月10日、11日の本番に向けて、事前準備や練習が行われている十河地区のイベント「みんなでドミノ in 十河」。学校や地域の協力のもと数多く行われる練習などを追いかけて、「どんまい」という言葉に込められた実行委員会の方々の想い、世代を超えた人の「和」の広がりなど、十河地区ならではの取り組みを紹介する。</p> <p>また、あいさつ運動などを通じて十河地区が大切に育ててきた「地域の絆」が深められていく様子も同時に伝え、地域の繋がりが強い十河地区ならではの町づくりに迫る。</p>
出演者	十河地区の方々
プロモーション	放送前にチラシ配布・ホームページ・フェイスブックでの告知
今後の動き	まずは取材した地区の方に喜んでいただけることを目標に、様々な地区のイベントを特別番組として取り上げることで、最終的には全地域に貢献できる番組制作を目指す。

議案 自主制作番組

番組タイトル	瀬戸内国際芸術祭2016夏 「五感をくすぐるアートな旅」
放送期間・番組尺	平成28年8月1日～8月15日放送・29分番組
番組コンセプト	<p>今回で3回目を迎える現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2016」は、県内外や海外から合わせて100万人の来場者が訪れる国際的なイベントである。</p> <p>一方、県民の中には「瀬戸内国際芸術祭を見たことがない」という方も多く存在しており、その要因のひとつは「現代アートがよくわからない」というもの。</p> <p>しかし、瀬戸内国際芸術祭の本質は、ただ作品を鑑賞するだけではなく、島の文化、歴史、自然の魅力を再発見し人々の活力を生み出すもので、作品と合わせて島に触れることで複合的な芸術体験が味わえ、誰でも気軽に芸術祭を楽しむことができるというものである。現代アートや芸術そのものがわからなくても問題ないのである。</p> <p>番組では、この芸術祭の本質を理解してもらい、3年に一度、ここでしか見られない国際的な作品にもっと地元の人々に触れてもらうことを目的に制作した。</p>
番組内容	番組では、高松市内の島々に点在するアート作品の紹介に加え、開幕直前に制作現場を取材しアーティストの思いや作品の見方を紹介しながら、島の自然や食の魅力を届ける。
出演者	高松市内で作品展開をするアーティスト・案内人 大池智子（CMS）
プロモーション	チャンネルガイド・ホームページ・フェイスブック・地域情報誌を活用した 番組宣伝
今後の動き	今後は、県や市と連携して、瀬戸内国際芸術祭や地元の作家などを取り上げた番組制作を行い、県内外に情報発信していきたい。